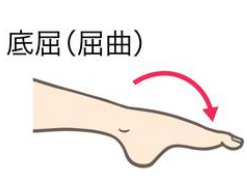






## 支援機器相談シート

相談内容	<p>&lt;現在&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・PPS スイッチの空圧を使用。</li> <li>・ニューマティックのセンサ部分には水風船を空気で膨らませたものを用い、それを足指にはさんで使用している。</li> <li>・日常的にスイッチをつけているわけではなく、「スイッチをやるか」の言葉がけで PPS スイッチの準備をしている。</li> </ul> <p>&lt;今後&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日常的に足指に、PPS スイッチを設置したい。(授業の内容によってつなぐ先を変えるだけで良いようにしたい)</li> <li>・現在、PPS スイッチのセンサ部分に水風船を空気で膨らませたものを利用しているが、それを「固定」しておけるアイデアが欲しい。※1時間おきに体位変換(右側臥位、左側臥位)している。→常に固定が可能となれば、意思伝達として常時つけておく機器(iPadの文字盤やレッツチャット)と、授業により変化させる何かをつなぐ用の2つ使い(両用、兼用)を考えていきたい。</li> <li>・ストレッチャーにPCかタブレットを常に設置しておきたい。</li> </ul>
相談結果	<p><b>【保護者】</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>① 現在、PPS スイッチが最も感度がよい。これよりよいスイッチもあるか。</li> <li>② スイッチのセッティングを楽にしたい。</li> <li>③ 音+光など、動作を知らせるものと活動とが併用して使えるとよい。</li> <li>④ 一日の中で本人がやりたいことを自分で選択して使い分けられるようにしたい。</li> </ol> <p><b>【返答】</b></p> <p>① 他のスイッチの場合、ピンポイントを狙いすぎた物が多く、難しさが出てくる。PPS スイッチが最も体位等に関係なくセッティングがしやすいだろう。</p> <p>*足の動きから、どのように動きをサポートするか。</p> <p>→ 足を使っているうちに徐々に底屈していくと、動かしくなくなっていく。重力に負けないように支えられるとよいのではないか。</p> <p>現在、内反の動きを使った足の動きを出している状態。 足を少し浮かせた姿勢が望ましいが、本人のやりにくさにつながる可能性がある。</p> <div style="display: flex; align-items: center; margin: 10px 0;"> <div style="text-align: center;">  <p>底屈(屈曲)</p> </div> <div style="margin-left: 20px;">  <p>ないはん 内反</p> </div> </div> <p>② スイッチの先端部をある程度固定し、少しの移動で対応できるように改良してはどうか。</p> <p>→ 風船(スイッチ部)とチューブの接続部あたりをL字に固定する。</p> <p>L字のジョイントやストローの蛇腹部分を使用してもよいのではないか。</p> <p>(写真: 十字に切り込みをいれたスポンジを使用)</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin: 10px 0;">   </div> <p>L字ジョイントチューブ    蛇腹ストロー</p> <p>* チューブが少しでも揺れることで反応してしまう。</p> <div style="text-align: right; margin-top: 10px;">  </div>

→ チューブ自体を短くしたり硬い素材を使用したりするとよい。

足元にスイッチを吊るすようにセッティングしてコンパクトに済むようにする。マジックテープ等を使用して貼り付ける方法もある。

試作品を検討する。(右写真)



③ スイッチ部から分岐させて、1つの動作で、同時に2つの反応があるようにするように狙ってはどうか。

④ 複数の機器を切り替えながら使用することに関して、切り替えスイッチを使用して切り替える(介助者による切り替え)方法が手軽で確実である。

作成することが可能で、この方法にすれば、介助者が本人のスイッチを設置しなおすことはない。また、動作用の分配スイッチと、切り替えスイッチを一つにして作成することができる。まずは市販品で探してみる。(故障時に買い足しができるため)

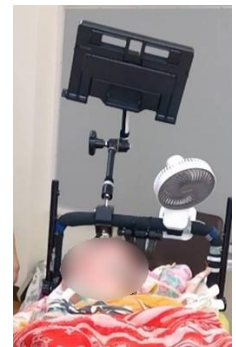
意思伝達装置に関して、現時点では、使い慣れてきている iPad を常時固定して使うことをお勧めする。

固定方法はいずれの意思伝達装置を使用した場合も、アームや三脚等を用いた方法になる。マンフロットが値段は高いが一番安心して確実に固定できる。

\* 固定位置を生徒の頭部側のバーに固定したいが、長さや角度、強度に不安がある。

→ 「ロックレール」や、「ごろ寝デスク」を試してみる。「スーパークランプ」も固定にはとても丈夫である。

川端鉄工所車椅子用「スパットアーム」等も試してみるとよい。



マンフロット



ロックレール



ごろ寝デスク



スーパークランプ



川端鉄工所 車椅子用「スパットアーム」